

ワンマンブリーダー：OM-660SA (1ボックス用フルード自動供給器)

取扱説明書

OM-660SAのお買上げ誠にありがとうございます。本工具は、プレーキまたはクラッチのエア抜き（フルード交換）時、リザーブタンク周囲にスペースがなく、従来の倒立型フルード供給器がセッティング出来ない、ワンボックス車などを対象に設計した、自動新フルード供給器です。

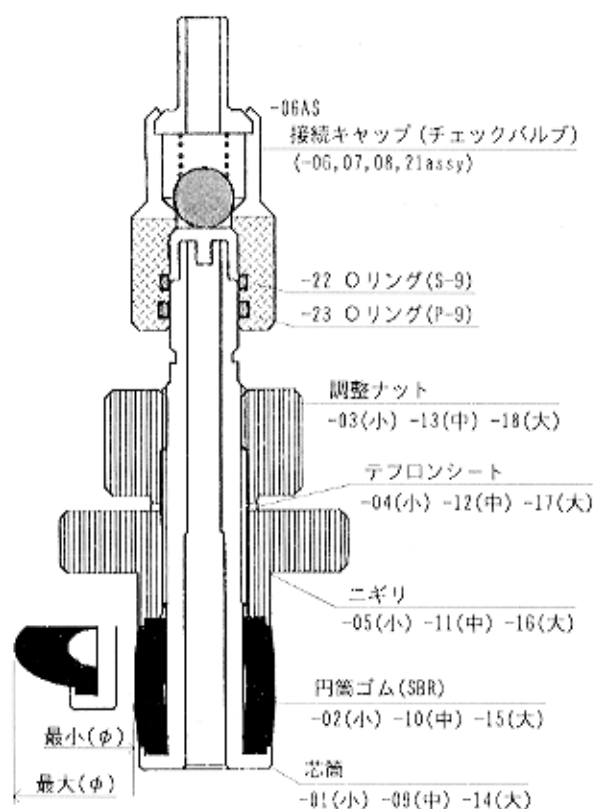
※リザーブタンク内径が60φ以上の乗用車タイプには、従来品《OM-805NFT／別売》をご使用下さい。ブリーダー（廃油受け）側には、バキューム吸い出し方式の《ブリーダーバキュームタンク：OM-805NBT／別売》での作業が便利です。
※ワンボックス車でも、リザーブタンク内に突起物などがある場合、または、キャップ部がデーパーの場合、本工具では使用できない場合があります。何卒ご了承下さい。



セット内容品：

フルードタンク2ℓ（シリコンホース2m・チェックバルブ付）
タンクキャップ・大中小各1ヶ
補助ステー・1ヶ 収納ポリケース

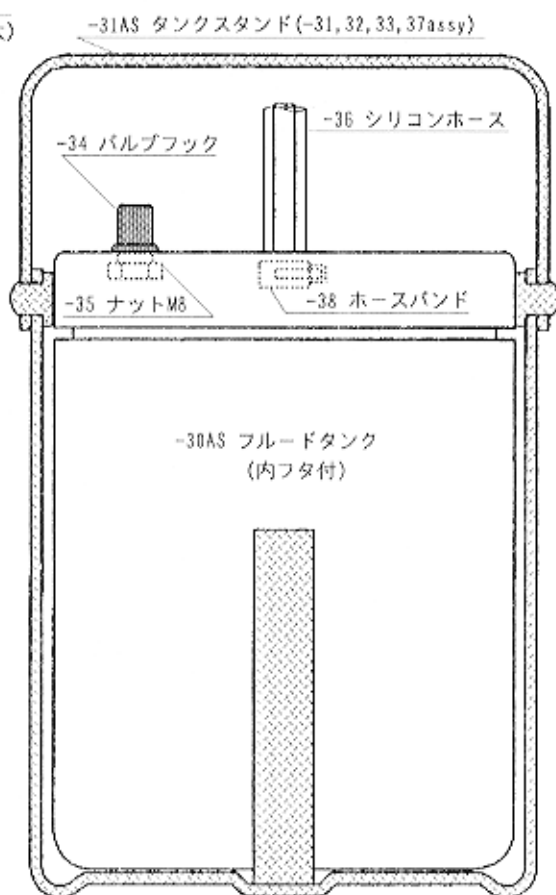
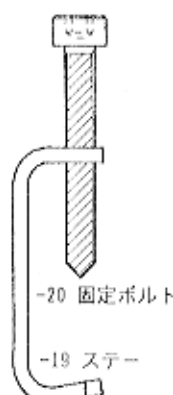
各部名称・パーツNo一覧表



適応サイズ

小 18φ~30φ
 中 30φ~43φ
 大 43φ~60φ

部品発注の際は、OM-660-の
 後に、部品図に記載されている番号
 をご記入の上、本セットをご購入さ
 れた販売店にお申し込み下さい。
 この取扱説明書は、作業時にご
 確認出来る場所に保管して下さい。
 紛失された時は、販売店または当社
 宛てご請求下さい。



ご使用前に必ずお読みいただき、正しくご使用下さい。間違った使用は、塗装面や、内装を傷めることがあります。また、ブレーキ系統のトラブル原因となり非常に危険です。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 注 意 事 項 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

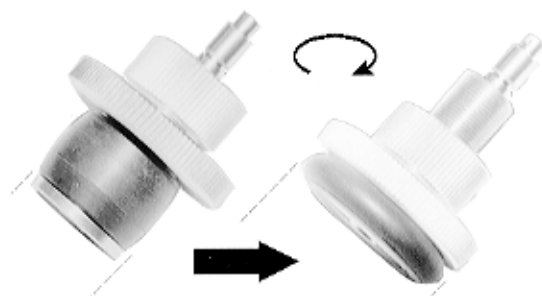
- ・作業する車種の整備要領書を用意し、メーカー指示に従って正しく作業して下さい。
- ・ブレーキフルードは、他銘柄、別グレードの物を混入しないように注意して下さい。
- ・ブレーキフルードは、塗装面などに付着すると塗装を変色させます。あらかじめ、ウェスや保護シートでカバーして下さい。もしも、付着した場合は、すぐに水で洗い流して下さい。また、目などに入った場合は、十分に水で流した後、医師にご相談下さい。
- ・ブレーキフルードに、水分やほこり汚れを混入させないように、作業前には、リザーブタンク内面およびフルードタンク、タンクキャップ、他部品をきれいに拭いて下さい。また、ガソリンなど鉱物性の液体が付着すると、ゴム部品が劣化しますので絶対に付着させなで下さい。
- ・作業後は、残ったブレーキフルードを抜き取り、他部品をきれいに拭いて下さい。そして、接続キャップをフルードタンクのフックに差し、他部品と共に、清潔な状態で収納ケースに保管して下さい。フルードタンクは、フタを締めても密閉されませんので、ブレーキフルードの保管には適しません。また、倒した場合は液漏れしますので確実に立ててご使用下さい。
- ・タンクキャップは、リザーブタンク内に加圧がかかると抜けてしまいます。加圧・圧送タイプの機器に接続して使用することは絶対に避けて下さい。
- ・タンクキャップの円筒ゴムおよびOリングなどのゴム部品は、時間が経つと劣化し気密性が低下します。固くなっていたり、変形または傷が入った物は、交換してご使用下さい。

原理：ペダル操作またはブリーダプラグからフルードを吸い出すと、リザーブタンクのフルードレベルが下がります。この時、タンクキャップによって密閉されているリザーブタンク内に、バキューム圧（負圧）が発生します。この圧力により、フルードタンクから新フルードが吸い出されて、レベルの下がった分だけ供給されます。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 使 用 方 法 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

- 1、シリコンホース先端が、フルードタンク底面に届くよう調整して下さい。
※先端が多少たるむ程度が良い。ピッタリ底面についてしまうと、吸い込みの抵抗になる場合があるので注意。
- 2、新しいブレーキフルードをフルードタンクに注ぎ、内フタ・外フタをしっかりと取付けます。
※フルードタンクに注ぐフルード量は、作業中に切れない位で、最大八分目にして下さい。

- 3、作業車のリザーブタンク内径に適する、タンクキャップを選定します。あらかじめ、リザーブタンク内径に近いサイズまで、調整ナットを締め込んで円筒ゴム部を拡張させておいて下さい。
※調整ナットのネジ部には、ブレーキパーツ用のラバーグリスなどを塗布して下さい。鉱物性のグリスはブレーキフルードを劣化させますので、使用しないで下さい。



適応サイズ 小(18φ~30φ) 中(30φ~43φ)
大(43φ~60φ)

- 4、タンクキャップを、リザーブタンクの出来るだけ奥まで差し込み、調整ナットをしっかり締めて下さい。その後、補助用のステーを取付けて下さい。
- ※リザーブタンク上部のスペースに余裕がある場合は、5、の作業により接続キャップを先に取付けておいた方が、作業しやすいこともあります。
- ※リザーブタンク内に、フィルターなどの突起物があり、タンクキャップが奥まで入らない時は、それらを取り外して下さい。取り外しできないタイプには使用できません。
- ※タンクキャップが、簡単に外れてしまうような時は、取付け位置を再確認して下さい。円筒ゴム外周およびリザーブタンク内面のブレーキフルードを拭き取っておくと、より安定します。



- 5、シリコンホース内のエア抜きを行ないます。初期使用の場合、シリコンホース（出荷時2m）内のエア容量分だけ、ブレーキフルードが供給されません。そのため、接続キャップを抜き取り、あらかじめバキューム機器など（口で吸わないで下さい。）で、シリコンホース末端付近までフルードを吸い上げておきます。そして、再度接続キャップを差し込んだ後、タンクキャップに接続し作業開始して下さい。
- ※リザーブタンクに余裕がある場合、あらかじめ25cc程度（シリコンホース・内径4mm×2m出荷時の場合）フルードをつぎ足しておけば、シリコンホースのエア抜きは必要ありません。
- ※接続キャップ差し込み時、こじってタンクキャップが外れないよう注意して下さい。
- ※フルード缶に、直接シリコンホースを差し込んで使用することもできます。この場合、倒さないよう十分にご注意下さい。

